

令和 6 年度第10回 区政運営会議 記録要旨

1 日 時	令和 6 年 9 月 17 日（火） 10：50 ～ 11：00	2 場 所	第五委員会室	
3 件 名	特別支援学級等の整備推進（自閉症・情緒障害特別支援学級の新設の検討）			
4 出 席 者	区長、堀越副区長、新井副区長、教育長 各部長・担当部長 企画経営部各課長・総務課長・戦略広報課長	5 会 議 結 果	■ 案のとおり決定する。	【備考】
			□ 一部修正の上、決定する。	
			□ 継続して検討する。	
			□ 案を否決する。	
6 会 議 内 容	【指示事項】 ◆案のとおり進めること。			

付 議 事 案 書

審議事項 ・ 報告事項						
1 件 名		特別支援学級等の整備推進（自閉症・情緒障害特別支援学級の新設の検討）				
2 担 当 部 課		教育委員会事務局教育総合支援センター		3 関 連 部 課		
論 点 4 （決定を要する事項）		伊藤幼稚園閉園後の施設を活用した自閉症・情緒障害特別支援学級の新設について検討を進めてよろしいか				
5 概 要	① 現 課 状 題	自閉症・情緒障害特別支援学級の開設状況 ・ 浜川中学校 平成30年4月開級（7年目） ・ 大崎中学校 令和4年4月開級（3年目） ・ 宮前小学校 令和6年4月開級（1年目） 今後も利用児童・生徒の増加が見込まれるため、学級の新設が求められる		② 付議事案	目 的	区内小学校2校目となる自閉症・情緒障害特別支援学級を開設し、子どもの実態やニーズに応じて就学・転学できるようにする。
					対応方策	伊藤幼稚園跡の施設を有効活用し、伊藤小学校へ自閉症・情緒障害特別支援学級を開設する。
	③ そ の 他 （スケジュール等）	令和6年度 学校・保護者・地域への説明 令和7年度 開設準備（工事、物品購入） 就学相談・転学相談の実施 令和8年度 開級（4月）		項目	有無	方法（時期）
				条例規則	無	
				議会説明	有	令和7年1月 教育委員会、文教委員会で説明予定
				区民参加	無	
				報道発表	無	
				広報・HP	有	令和7年4月～就学・転学相談HPや説明会等で周知
6 参 考 情 報	令和6年度に自閉症・情緒障害特別支援学級を開設した宮前小学校において、約50件の見学や問い合わせに対応している。		7 添 付 資 料	資料1_特別支援学級等の整備推進 ～伊藤幼稚園閉園後の施設を活用した自閉症・情緒障害特別支援学級の新設検討～		

特別支援学級等の整備推進 ～伊藤幼稚園閉園後の施設を活用した自閉症・情緒障害特別支援学級の新設検討～

令和6年9月17日
教育総合支援センター
特別支援教育担当

1 自閉症・情緒障害特別支援学級の対象および区の開級状況

- 知的発達の全般的な遅れがなく、「**自閉症または情緒障害で、他人との意思疎通および対人関係の形成が困難である程度のもの**」または「**主として心理的な要因による選択性緘黙等があり、社会生活への適応が困難である程度のもの**」に該当する児童・生徒

・浜川中学校 平成30年4月開級（7年目）34名在籍
・大崎中学校 令和4年4月開級（3年目）20名在籍
・宮前小学校 令和6年4月開級（1年目）10名在籍

2 自閉症・情緒障害特別支援学級の現状

○現状①（大崎中学校・浜川中学校の状況）

- ◆自閉症・情緒障害特別支援学級は開級後、利用生徒が増加している。小学校でも、今後の利用児童の増加が見込まれる。

【利用生徒数の推移】

年度	R元	R2	R3	R4	R5
浜川中	7	18	23	36	36
大崎中				11	14



○現状②（宮前小学校の状況）

- ◆令和6年度から開級（10名）。学校への転学の問い合わせは9月2日現在約50件あり、次年度の児童増が見込まれる。

【R6内訳】

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年
人数	2	0	2	3	2	1

○現状③（伊藤小学校の状況）

- ◆就学人口推計から当面の間、児童数や学級数に大きな変動は想定されていないことから、自閉症・情緒障害特別支援学級を開級した際の教室利用を想定しやすい。

【伊藤小学校 就学人口推計】

年度	R6	R7	R8	R9	R10	R15	R20
人数	562	539	527	503	484	506	546
学級	18	18	18	18	18	18	18

3 自閉症・情緒障害特別支援学級の新設 … 伊藤幼稚園の活用（案）

【今後の活用（案）】

- 伊藤幼稚園閉園後の施設利用を進め「伊藤小学校」に、自閉症・情緒障害特別支援学級を開設する。令和6年度末の卒園を待ち、令和7年度に以下の施設整備を行い、令和8年度の開級に向けて準備を進める（開級時2学級16名を想定）。

○園児用のトイレを児童用に改修、男女別に利用できるようにする。

○保育室は現状を保持、自閉症・情緒障害特別支援学級での利用の他、学年や学級での指導（生活科や市民科など）や別室指導、地域等での利用など様々な用途に活用できるようにする。

【1階部分】

主事室
玄関
ホール
職員用トイレ
園児用トイレ
教材室
保育室1
保育室2

○園児用のトイレを児童用に改修、男女別に利用できるようにする。

○遊戯室を個別のブースに分け、小集団での指導（クールダウン含）を実施できるようにする。広いスペースは全体指導などで活用する。

【2階部分】

トイレ
職員室・保健室
教材室
スペース
遊戯室
A
B

【概算経費】

○イニシャルコスト **6,500万円**

建築工事	3,800万円
電気施設設備	1,300万円
機械設備	800万円
備品・消耗品	600万円

○ランニングコスト **420万円**

教材教具等購入費	20万円
特別支援学級支援員配置	400万円

※支援員は2名想定（1学級1名配置）、教員は東京都より配置される。

4 スケジュール（案）

年度	6年度							7年度		8年度		9年度
月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	前期	後期	前期	後期	
スケジュール	区政運営会議	地域への説明			教育委員会 文教委員会			工事	就学・転学相談	自閉症・情緒特別支援学級開級		
	予算編成					予算プレス発表		教委・文教報告	物品購入・納品			